

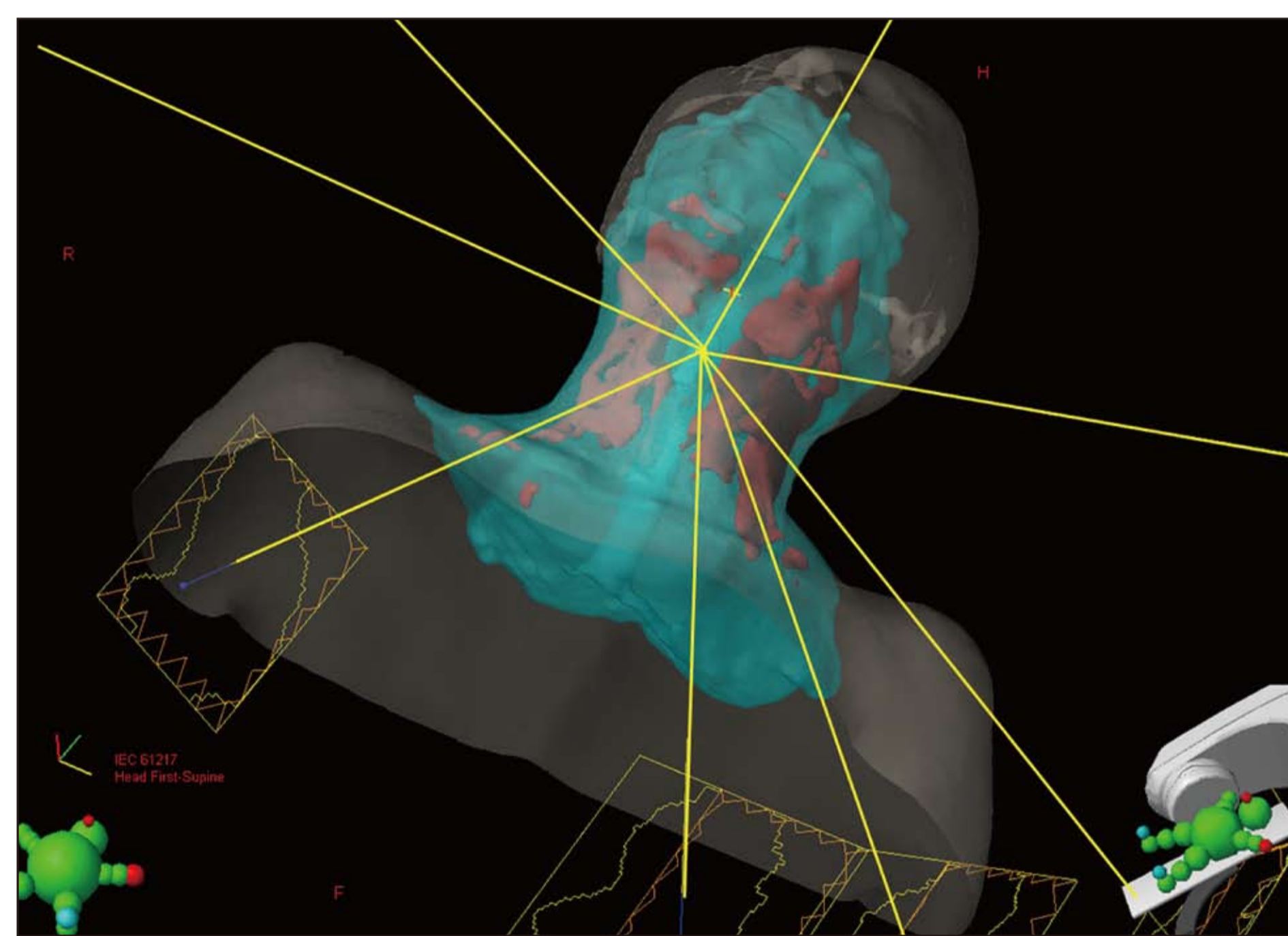
最新放射線治療

Radiation Therapy

中央病院放射線治療科では、4台の外部照射用リニアックと小線源治療装置・小線源治療室により放射線治療を実施しています。リニアックでは三次元治療・定位放射線照射・強度変調放射線治療(IMRT)などを実施しています。現在建設中の新治療棟(仮称)には動体追尾機能など最新装置を導入し、最適の放射線治療方法を提供する予定です。

最新型放射線治療装置(定位照射・IMRT・VMAT)

がんに対する放射線治療は、がん周辺のわずかな正常細胞を含む範囲に放射線を照射し、がん細胞と正常細胞の回復力の違いを利用して、極力がん細胞のみを根絶する方法です。最近の治療方法は正常細胞にかかる範囲を極力少なくして実施されています。特に定位放射線治療では、小さながんに対してあらゆる方向から照射することで、患部への放射線を集中させる手法を取ります。さらに体内臓器の呼吸移動も追尾して照射する方法を追加して、正常細胞への影響を極力減らす事も可能です。また強度変調放射線治療(IMRT)という、がん細胞により多くの放射線を、周辺の正常細胞にはできるだけ少ない放射線を、制御しながら照射する方法も行われています。中でもVMATは、照射に係る時間をなるべく短時間で行うために、放射線発生装置も回転しながら複雑な制御の中で行う最新の手法です。これらを駆使して患者個々に最適な放射線治療を提供しています。



放射線治療の実際



サイバーナイフ装置



トゥルービーム装置